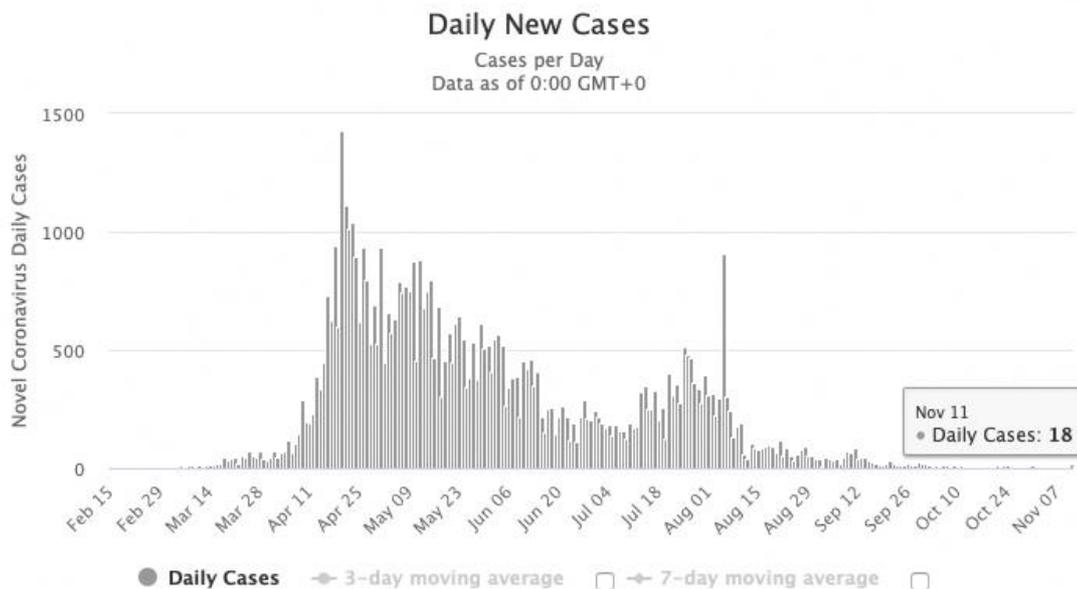


シンガポールにおけるコロナの状況と経済について

シンガポール市中の状況

シンガポールの、ここ最近の新型コロナウイルス感染症新規感染者数は、1日あたり数人から十数人程度と低い水準で推移しています。また、新規感染者のほとんどが輸入症例者（シンガポール到着後の14日間ホテルでの隔離実施中に感染確認）となっており、市中感染は落ち着いている状況です。こうしたことから、シンガポール政府は経済・社会活動の制限を年内には緩和し、フェーズ3に移行する事を示唆しました。（シンガポール政府は経済・社会活動の制限を3段階に分けて緩和しており、現在フェーズ2と呼ばれる第2段階にあります。）これにより、引き続きマスクの着用や人と1m以上の間隔を空ける必要があるものの、レストラン等での店内飲食やミーティングなどグループでの集まりの制限が、現行の最大5人から8人まで引き上げられるなどの措置が予定されており、ルールを守りながらも人々の交流が活性化されると期待されています。

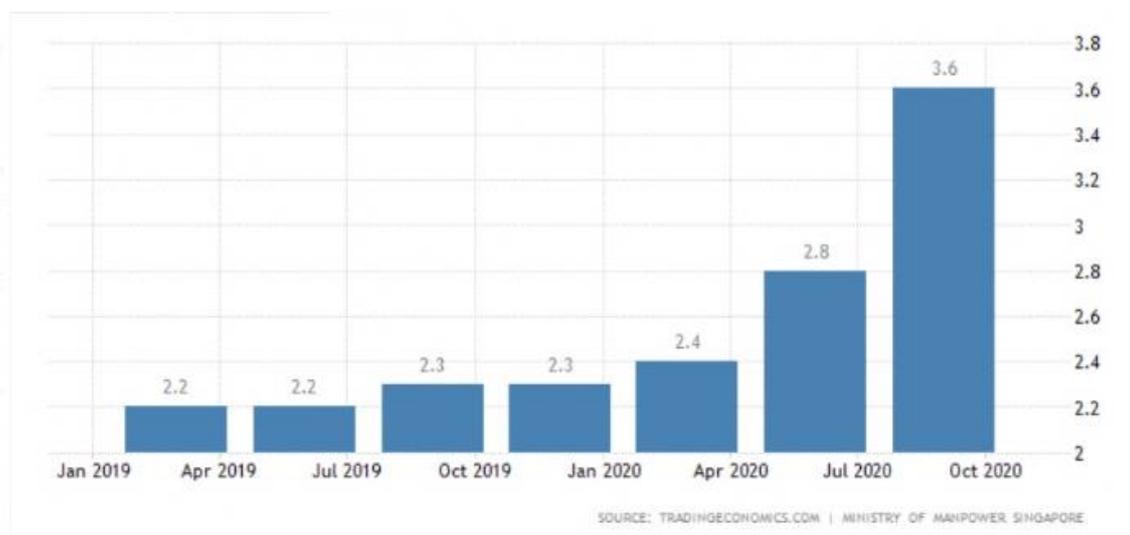
Daily New Cases in Singapore



シンガポールにおける新規感染者数の推移（出典：worldometers/coronavirus）

一方、政府は国会の場でフェーズ3が1年以上継続する可能性がある事も示唆しました。フェーズ3は、新型コロナウイルス感染症の有効なワクチンまたは治療法が確立するまで継続することとし、それまでに感染者数が再度増加することとなれば、再び厳しい活動制限を設けざるを得ないということから、感染対策を引き続き徹底するよう付言もありました。

こうしたコロナ禍において、シンガポール国内においても経済活動に大きな影響が出ています。飲食店を始め、多くの事業が撤退、閉鎖に追い込まれており、中でも、1858年に開業し、160年以上の歴史をもつ老舗百貨店もこの度閉鎖することとなりました。シンガポールの銀座と呼ばれるオーチャード通りや中心部のラッフルズシティという好立地に店舗を構えていましたが、活動制限の影響で店舗営業ができなかったこと、インバウンドの受け入れが止まったことで大きな影響を受けていました。また、国内の失業率も、今年3月末に2.4%だったものが、9月末には3.6%まで急上昇しています。



シンガポールの失業者の推移

シンガポール、14日間の隔離免除を5カ国に拡大

シンガポールでは、年間約1,800万人もの外国人観光客を受け入れていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により3月23日にシンガポールへの入国を禁止しました。現在、新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減少し、規制を解除しても安全と判断された国から渡航規制緩和がなされており、9-10月に14日の隔離措置なしでの渡航が認められた、オーストラリア、ニュージーランド、ブルネイ、ベトナムに加え、11月6日以降、中国からの渡航者に対し、14日間の隔離措置が免除されました。これにより、当該国・地域に過去14日間以上滞在していた人は、短期滞在を認める査証「エア・トラベル・パス」の申請をした上で、シンガポールに入国できるようになりました。入国時には空港で新型コロナウイルスの検査が義務付けられていますが、陰性であれば隔離措置することなく行動できるようになりました。ただし、滞在中は新型コロナの感染経路追跡アプリ「トレーストゥギャザー」の理由を必須とするなど、シンガポールのルールに従う必要があります。

また、シンガポール航空では、12月には、運行本数がコロナウイルス流行前の約16%まで回復し、また、運行再開した都市数も約37%まで回復する見込みであると発表されました。以前に比べると極わずかではありますが、徐々に回復基調にあることは非常に喜ばしいことであり、今後も万全な対策を講じた上での交流人口の拡大に向けて状況が改善されることを願っています。

Deepavali（インドの祭典）の開催について

シンガポールを代表する伝統行事のひとつであるディパバリは、悪に対する善の勝利を祝福するヒンズー教徒のお祭りです。光の祭りとしても知られており、シンガポールだけでなく世界各国のヒンズー教徒の家庭では自宅をランプで美しく飾り、ご馳走を振る舞うなど、ヒンズー教の豊穰と富を司る女神ラクシュミなどへお祈りを捧げています。インド人が多く集うリトルインド地区では街中がお祭り仕様に装飾されており、多くの人で賑わっています。また、シンガポール日本人学校においても、シンガポールならではの学習の一環として地元文化を学ぶべく、授業の中でディパバリを祝う日を設け、子供達が民族衣装を身につけ登校し、インド文化を身近に体験・学習することで国際的な理解や考えを学ぶこととしています。これに限らず多民族国家

であるシンガポールではいろんな文化がそれぞれの行事を行なっており、様々な国の文化・風習を学ぶことができます。現在はコロナの影響で、自宅への来訪者は5人までという制限がありますが、シンガポール事務所のアシスタントのサキも安全に配慮しながら親戚の家でお祝いをしたようです。



コロナ禍の中、国や地域によっては、まだまだ予断は許されない状況ですので、ご健康にご留意いただきますとともに、お困りごと等ございましたら何なりとご連絡ください。